


境木保育園		29年度	3月指導計画 (3歳児)	いちご組	園長印 	担任 浅井	
子どもの様子		ねらい		行事	自己評価		
インフルエンザなど体調不良の子が見られる。友だちと関わりを持ちながら自分たちで遊びを考え、よく遊んでいる。一方、うまくタイミングが図れない子はなかなか遊びの輪に入らず、保育士の仲介を必要とする場合が増えている。		<ul style="list-style-type: none"> ・一日の見通しをもって意欲的に生活する。 ・成長を喜び、進級する事への期待を持つ。 ・友達や異年齢児と関りながら、様々な遊びを楽しむ。 		5(月)英語 6(火)お別れ会 9(金) 15(木)避難訓練 26(月)新クラスで保育 27(火)誕生会			
内容		環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り			
生命・情緒 健康・人間関係・環境・言語・表現 養護・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・視診検温をこまめにし、一人ひとりの体調の変化にすぐに気づき対応する ・一人ひとりゆったりとした時間をもてるよう、時間に余裕をもった活動を計画する。 ・しっぽとりや鬼ごっこなどの簡単なルールがわかり、友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを知る ・異年齢児との交流を通して、大きくなった喜びを感じ合う。 ・自分の思いや考えを伝えたり、友だちの思いに気付いたりしながら遊ぶ。 ・自分の思ったことを言葉で表現して、保育者や友達との言葉のやりとりを楽しむ。 ・草木の芽吹きや風の暖かさなどに気づき、春の訪れを感じる。 ・ひな祭りの集いに楽しんで参加する。 ・お別れ会に参加し、お祝いするなかで自分たちも進級する喜びを持つ。 ・季節の歌や、今まで歌った歌を歌う。 ・りんご組での生活の仕方を知り、慣れる 		<ul style="list-style-type: none"> ・室内の換気・加湿を行う ・見通しがもてるよう色付きの時計を用いて時間を伝える ・ホール、広場や公園など広い空間を用いる ・異年齢児と関わって遊べる場や時間を設ける。席順など配慮する。 ・少人数ずつの活動にするなどゆったりと友だちと関われるようにする ・散歩先で目を向けたり、図鑑を用意したりする ・飾ってあるひな人形をみたり自分たちで制作したひな人形を飾ったりする ・卒園式の後よりりんご組にて保育する。その前から部屋を使わせてもらい慣れられるようにする ・掃りの会に参加する ・動線を十分にとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連絡を密にとり、一人一人の体調を把握する ・時間がかかる子には早めに声をかけるなど配慮する ・わかりやすいルールのものから徐々に取り入れていく ・友だちと遊びを進めていこうとする姿を見守ったり、保育者も一緒に遊んだりして友だちと一緒に遊ぶ楽しさに共感する。また、ルールを守って遊ぶことの大切さにも気付かせる。 ・どの年齢の子どもも楽しく遊べる様に計画を立てておく。 ・保育士も言葉を添えながら見守る ・行事が身近なものになるよう、制作や物語を通じて伝える ・普段の生活の中に自然と歌をとり入れ、歌に触れる機会をもつ ・生活の仕方を丁寧に伝える ・トイレのスリッパをはくようになるため、安全に使えるように声をかける 			
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中、マナーを守りながら食事しようとする ・箸を使って食べてみようとする ・当番活動やおかわりの配膳など自分ですんでやろうとする ・調理保育を経験し、身近な食材に興味をもつ 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も一緒に食べる ・十分な区間を用意する ・動線を確保する ・工程が目で見えてわかりやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中食事できるようにする ・一人一人の様子を見られるようにする ・調理の先生と打ち合わせをする 		
				地域とのかかわり	家庭との連携		
				散歩先であいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> ・調理保育の準備をお願いする ・進級にあたって心配なことが少なくなるように変わることを伝えていく ・一年間の感謝をしっかりと伝える 		
				時間外保育			
				感染症の状況も考慮して合同保育にする			